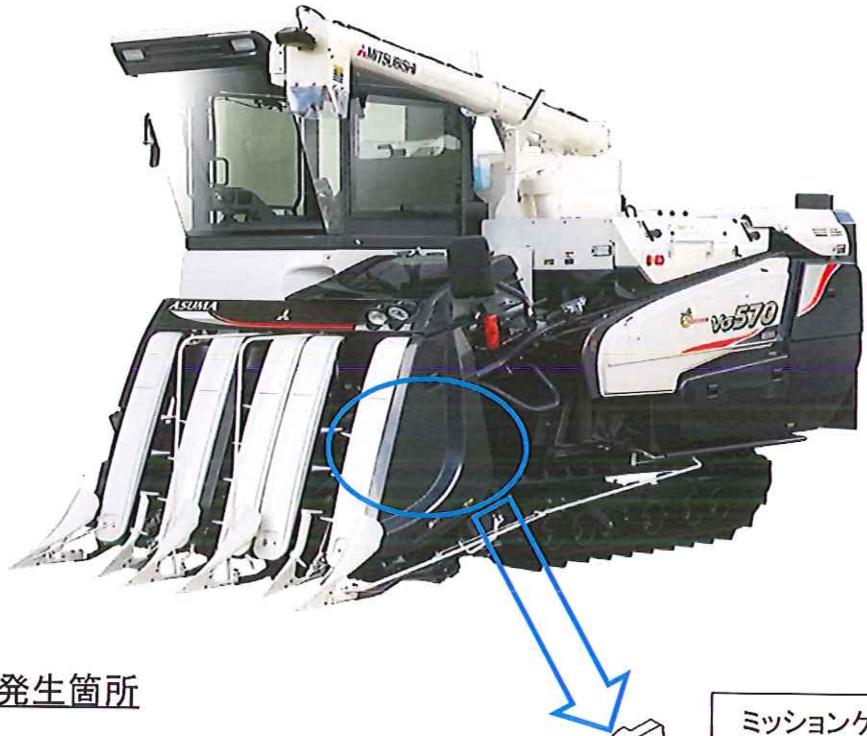
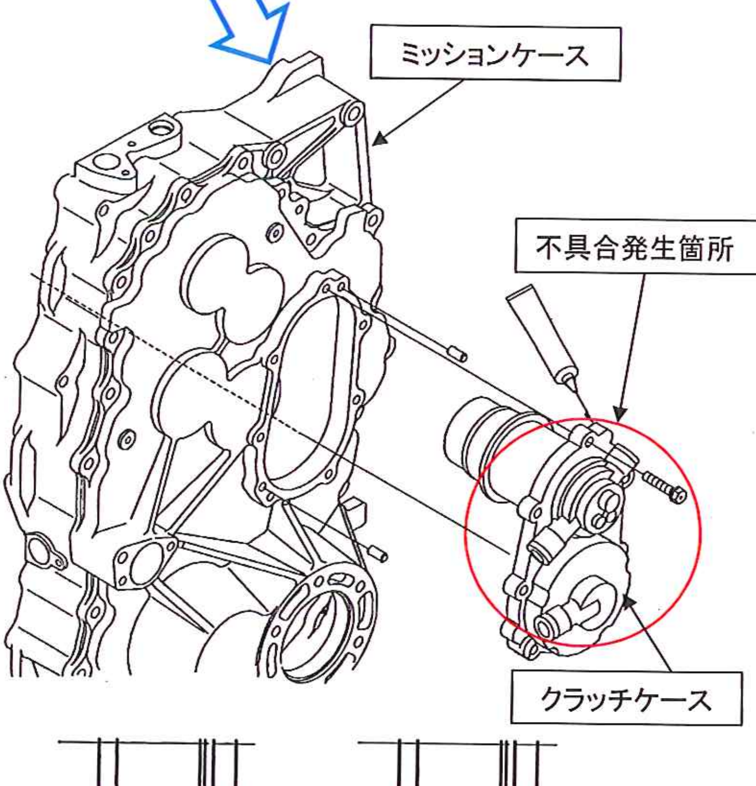
改善箇所説明図①



不具合発生箇所

刈取脱穀作業車の動力伝達装置において、左旋回クラッチケースの製造が不適切なため、クラッチケースの強度が不足しているものがある。そのため、左旋回時にかかる油圧によりクラッチケースに亀裂が生じてオイルが漏れ、最悪の場合、クラッチケースが破損して旋回できなくなるおそれがある。



改善措置の内容

全車両、クラッチケースを対策品と交換する。

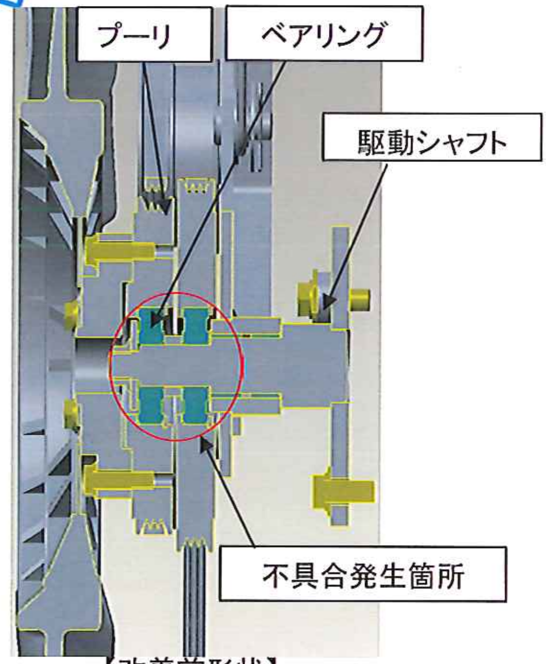
識別方法

ケースボス部の形状によって識別する。

【改善後形状】

【改善前形状】

改善箇所説明図②



【改善前形状】

不具合発生箇所

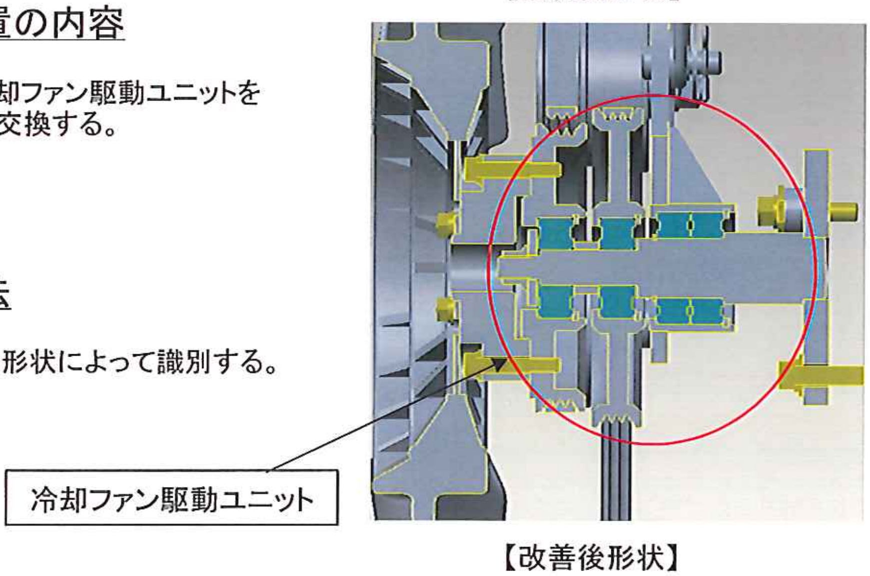
刈取脱穀作業車の原動機において、冷却ファンを作動させる駆動プーリとベアリングの嵌合部の隙間が大きいため、駆動プーリのボス部が摩耗することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、摩耗が進行して冷却ファンを駆動できず冷却ファンが停止し、最悪の場合、オーバーヒートに至るおそれがある。または、摩耗が進行したプーリの振動により駆動シャフトが破損して冷却ファンが停止し、最悪の場合、オーバーヒートに至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、冷却ファン駆動ユニットを対策部品と交換する。

識別方法

交換部品の形状によって識別する。



【改善後形状】